

第七號

0920

閱

月高

銃砲

建築

衣糧

醫務

軍需

秘

編制

二師參動第七二號

陸軍省

七

第三十師團軍備改變實施概況ノ件 報告書  
昭和拾壹年三月廿八日

第二十師團長川岸文三郎

陸軍大臣 伯爵寺內壽一殿

昭和十一年軍備改變要領細則 第二條  
ニ基キ首題ノ件 別冊ノ通報出口ス

課  
12.1.6

陸軍省  
2.1.7  
整備課

軍

陸軍省  
2.1.16  
銃砲課

陸軍省  
12.1.12  
建築課

陸軍省  
12.1.7  
衣糧課

11  
衣糧課

陸軍省

0751

秘

昭和十一年

第二十師團軍備改變實施概況報告

第二十師團



第二十師團軍備改編實施概要

一 編制改編部隊次ノ如シ

師團司令部

歩兵第七十七聯隊

歩兵第七十八聯隊

歩兵第七十九聯隊

歩兵第八十聯隊

野砲兵第二十六聯隊

馬山重砲兵聯隊

工兵第二十聯隊

龍山陸軍病院

二 編制改編期日

特ニ規定スルモノノ外次ノ如シ

昭和十一年八月一日

主トシテ歩兵聯隊ニ於テ増加セラレタル幹部ノ充  
足及師團司令部ノ改編實施竝稱統變更部隊

トス

昭和十一年十二月一日

前項以外ノモノ

三、改編實施ノ概況

各改編部隊ノ人員ノ増減ハ軍令陸乙第十九號昭和十一年度軍備改編要領第十條ニ基ク著手順序區分ニ依リ實施シ一部將校ノ補充及砲(五)兵工長ノ充足ヲ除ク以外ハ全部完了セリ

前項ノ實施ニ當リ特ニ考慮セル點次ノ如シ  
ノ步兵聯隊

(1) 各聯隊各機關中隊<sup>統</sup>ノ兵定員ニ於テ十年

徵集兵ハ要領細則附表第一其四ニ依リ四十三名  
 入隊スル結果十年徵集兵ニ過剩員ヲ生スル以  
 テ之ヲ各聯隊歩兵砲隊ノ不足人員ニ充用スル如クセリ  
 各聯隊歩兵砲隊ノ兵定員ハ今固著シク増加セラ  
 ル關係上爾後ノ各年次徵集兵ヲ略々均等ナラ  
 シムル見地ヨリ昭和十年徵集兵ニ約二十名不足  
 ラ生シタルヲ以テ前項機關銃<sub>中</sub>隊ノ過剩員ニテ之ヲ  
 充足シ猶不足スル者ハ一般中隊ヨリ編入替セリ  
 (四) 各聯隊歩兵砲隊ノ不足人員トシテ編入替セル前項

人員、教育ハ各改編部隊ノ實情ニ應ジ編制改正  
 正實施前歩兵砲隊ニ假編入シテ補備教育ヲ  
 實施シ又ハ編入替後ニ於テ補備教育ヲ實施  
 スル等ノ手段ヲ講ジ爾後ノ演練ニ此ノ支障ナキ  
 如ク配慮セリ

(ハ) 聯隊通信要員ハ各聯隊小銃中隊及歩兵砲  
 隊ニ各三名ヲ配當ニアリ

乙 野砲兵第二十六聯隊

編制改正實施前於テ基幹人員トシテ聯隊各

中隊より十榴中隊ニ編入替スル者ヲ集合セシメ日曩  
ニ陸軍野戦砲兵學校ニ派遣歸隊セル將校  
(下士官)ヲ教官(助教)ト爲シ十榴部隊要員  
ノ補備教育ヲ安具施セリ



## 四、兵器

師團輕裝甲車訓練所用所要兵器ハ從來ノモノヲ其儘使用シアリ

○各歩兵聯隊本部及機關銃中隊並歩兵砲隊增加人員ニ對スル所要兵器ハ聯隊各中隊並機關銃隊減員ニ伴フ過剩品並平時豫備ヲ以テ充用シ演練上支障ナキモ編成定員以外ノ者ハ入隊並修理等場合現兵器表所定數ニテハ不足ラ生スル状態ナリ

① 野砲兵聯隊ニ新ニ増設セラレタル榴中隊所  
 要兵器中九一式十種榴彈砲々車四同  
 彈藥車四及同隊備品車二ハ支給ヲ受ケタ  
 ルモ其他ハ未受領ナリ

## 五、經理

## 被服事項

昭和十一年八月及十二月増員者ニ對スル  
 所要被服ハ先ツ各部隊ニ於ケル在庫品ヲ  
 使用シ又防毒面（甲）ハ昭和十年度以降  
 ノ増員者ニ對スル初度現品交付ヲ受ケ教  
 育訓練ニ遺憾ナカラシムルト共ニ之カ爲  
 生シタル在庫品ノ不足ハ初度額ヲ以テ調  
 達補填シ給與ニ就テハ何等支障ナキ状態

コナリ

## 2. 物品事項

本年度編制改正部隊ノ練習用具廳中具及  
 消耗品ハ十一月十六日及十月八日夫々初  
 度整備費ノ令達ヲ受ケタルヲ以テ部隊ノ  
 狀況ヲ斟酌シ各部隊ニ令達又ハ配當シ之  
 カ實施計畫ヲ徴シテ審査シタル上所要時  
 期ノ緩急度ヲ顧慮シ差向必要ナルモノヨ  
 リ遂次調達ヲ實施スルト共ニ從來ノ在庫

品ヲ併セ供用シ目下教育及内務上支障ナ  
キ程度ニ在リ

### 3. 營繕事項

別紙調書ノ進捗狀況ニシテ兵舎厩講堂銃  
工場裝蹄場倉庫類其他雜種構築物共人馬  
ノ收容ニ支障ナキ様竣功シ宿舍ノ一部ハ  
目下工事中ナルモ一月末日迄ニハ全部完  
成ノ見込ナリ尚竣功建物ハ遂次使用部隊  
ニ引繼使用セシメタリ

昭和十一年 十二月末日調 軍備改變工事調書 第二十師團經理部						
工事名稱	工事金額	起工年月日	竣工年月日	出來高歩合	摘要	
歩兵第七十八七十九聯隊 兵舎新築其他工事	117,801.000	1919.2	1920.8.10	完	宿舎ノ一部ヲ除キ 十年十二月二十五日完了	
歩兵第八十聯隊 兵舎新築其他工事	24,800.000	1919.11	,	完	右	全
歩兵第八十聯隊第三大隊 兵舎補修其他工事	117,800.000	1919.11	,	完		
歩兵第七十七聯隊 兵舎補修其他工事	52,150.000	1919.11	,	完	宿舎ノ一部ヲ除キ 十年十二月二十五日完了	
野砲兵第二十六聯隊 兵舎増築其他工事	106,600.000	1919.8	1920.11.15	完		
歩兵第七十八聯隊講堂及 通信講堂新築其他工事外						

二層工事 歩兵第七十八聯隊 車庫増築其他工事 外一層 工事	1,000,000	17,811	11,331	九分六厘	宿舎ノ一部ヲ除キ 全部完了
歩兵第八十聯隊 通信糧食新築其他工事	3,800,000	17,840	、	八分五厘	宿舎一部 未 済
歩兵第八十聯隊第三大隊 兵器庫増築其他工事	1,870,000	17,811	11,331	完	
富平演習場 廠舎増設工事	4,000,000	17,811	11,331	完	
歩兵第七十七聯隊 講堂新築其他工事	1,000,000	17,811	11,331	九分	宿舎一部 未 済
平廣演習場 廠舎増設工事	2,000,000	17,811	11,331	四分五厘	
高村砲第六聯隊 新設工事	2,000,000	17,811	、	六分五厘	炊事浴室完了
區隊演習場 廠舎増設工事	1,000,000	17,811	、	四分	

六馬匹

軍備改變ニ依ル増加馬ノ補充景況竝獸毆西材料  
交付區分別表第一、第二、如シ



昭和十一年度軍備改変ニ依ル増加馬補充区分表

昭和十一年十二月十日  
第二十師團

概況	増加馬	内馬												師過			内地師馬			師過			師過			出場所 被増加部隊
		計			計			計			計			計			計									
		計	駒	乗	計	駒	乗	計	駒	乗	計	駒	乗	計	駒	乗	計	駒	乗							
一、軍馬補充部本部購買壯馬ハ朝鮮京城ニ購買尤頭ヲ除ノ外北海道二部 青森縣ニ購買ニ係ルモノニテ資質一般ニ概ニ不良好ナリ 二、内地師團過刺馬ハ概ニ可ナリト雖モ老齡馬少カラス中ニ自隊過刺馬ト交換 除役セルモノ若干アリ 三、師團内過刺馬ハ年齢ノ關係等資格ノ低下ハ免レサリシモ尙相當資格ヲ 有ス 四、補充ニ關スル意見 今次内地師團ヨリ補充セラレタル過刺馬ノ資格ハ概ニテ可ナシモ朝鮮ニ於テハ動員 上ノ要求ト在鮮馬ノ現狀トニ鑑ミナルハ上位ノモノヲ補充セラレ度 五、輸送途中斃馬ニヨル缺數ハ豫備駁込畜馬ヲ以テ補填セリ	1			1	1																師團					
	24	18	6										2	2		22	16	6				七七歩				
	24	18	6										2	2		22	16	6				八七歩				
	24	18	6										2	2		22	16	6				九七歩				
	24	18	6										2	2		22	16	6				〇八歩				
	65		56	1	8	22	5	1	16	1	5		18	6	12	16(9)		16(6)	(3)	22		六二砲隊				
	162	72	80	1	9	23			16	1	5	1	26	6	8	104(7)	113	64	40(6)	46	(3)	計				
一、中ハ〇補充馬中駒一ハ 輸送性肺炎ノ爲場陸陸後 十五時間ニテ金山揚陸馬營 中ニ斃死セリ 二、指内ハ朝鮮池内地購買 上ニ																					摘要					

第二

昭和十一年度軍備改変ニ依ル獸醫材料交付區分表

昭和十一年十一月一日調  
第二十師團

品目	増加部隊		交付區分						計	摘要
	歩七	歩八	歩九	歩八	騎八	野砲六	師通信			
甲獸醫行李	具								二	
乙獸醫行李	"								二	
獸醫携囊	"		一	一	一				四	
馬療囊	"								一	
野戰蹄鐵工具	"								一	
携帶蹄鐵工具	"		一	一	一				三	
備考			一	一	一	一	三	二	一	

備一本表ハ昭和十一年八月陸普第五二三三號通牒ニ依ル材料中本年十一月現品  
受領シ同月十六日各隊ニ供用セルモノヲ示ス